

脱IT初心者「社長の疑問・用語解説」(第40回)

お蔵入りクラウドカメラ

2021.04.27



次から次へと出てくる新しいIT用語。一体、何のことやら頭が痛い。そんなIT初心者の社長にも、分かりやすく理解できるようにITキーワードを解説する本連載。今回は、会社の安全対策にも役立つ「クラウドカメラ」だ。

「社長、倉庫に取り付けている防犯カメラが故障したので、クラウドカメラに替えませんか」(総務兼IT担当者)

「倉庫の防犯カメラとうちのクラ(蔵)にどんな関係があるんだ。何かたくらんでいるんじゃないか」(社長)

「何もたくらんでいませんよ。クラウドカメラは、防犯カメラの映像をクラウドで保管する新しいサービスです。インターネットを通じてどこからでも映像を確認できます。クラウドカメラなら社長の自宅からも倉庫の様子が見られるんですよ」

「うちの蔵なら歩いて確認に行けばいいだろう」

「ですから蔵じゃないんですよ、って今どき自宅に蔵があるんですか……」

映像をクラウドに保管してどこでも閲覧

これまで防犯カメラは、オフィスや工場など監視対象の近くに録画装置と監視モニターを設置する方法が一般的でした。問題発生時は録画装置に保存した映像を監視モニターで閲覧していました。クラウドカメラなら、防犯カメラで撮影した映像をクラウド上に保管し、インターネットを介して遠隔で映像を閲覧できます。防犯・監視の目的だけでなく、商品の売り場や工場の生産ラインなどさまざまな用途での導入が広がっています。

現場の録画映像を遠隔で確認できるクラウドカメラ



Q クラウドカメラのメリットは何ですか… 続きを読む